
ピタゴラスちゃんのジレンマ

伊吹 由

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピタゴラスちゃんのジレンマ

【Nコード】

N1365Z

【作者名】

伊吹 由

【あらすじ】

聖フィロソフィー学園・・・通称・テツ学。最近男女共学になったこの学園では、あらゆる生徒が哲学を中心に勉学に励んでいる。主人公のピタゴラスちゃんは、恋する乙女。勇気をふりしぼって、憧れの男子生徒にラブレターを届けようとするが・・・不可思議なミステリーに遭遇する。同じ倶楽部のデカルトちゃんやラッセルちゃんと共に、そのミステリーに挑むのだが・・・事態は思いがけない方向へと進んでいく。数学、物理、化学・・・全ての学問は哲学に通ず。実際の哲学論理的思考あり、哲学バトルあり、推理小説の

ような謎やどんでん返しあり・・・真実を証明するには？神は存在する？因果律とは？あらゆる哲学的要素を盛り込み、ピタゴラス達は困難に立ち向かう。そして彼女たちが行きついた先に見たものは・・・？

第1話 始まりはラブレター（前書き）

【哲学的な彼女】という企画に投稿を考えている作品です。この企画の要点は2つだと個人解釈。1つは「哲学に萌えを」（これ、企画側的には大事な点らしい）。そしてもう1つは哲学を知らない人が、「ふん、哲学ってこんなものなんだ」と、入り口的な物が見える点。個人的には古代や近代あたりが好きですが、時空を超えてあらゆる世代の哲学者を登場させ、謎解きあり、哲学的論理解釈あり、バトルありという形で書いていきます。最後の最後には、多くの科学者が議論している1つのテーマを元に・・・推理的トリックを用意してますので、推理小説が好きな方は謎解きに挑戦してみてください。

第1話 始まりはラブレター

～ 第1話 始まりはラブレター ～

3月14日。

「哲学者として、もっと成長したいから・・・
簡単には、先へ行かせないで・・・」

。。。。。。。。。。

「はー!?!」

一気に目が覚めた。鳴り響く目覚まし時計を見ると・・・午前6時。

「。。。。。。。。。。」

なんかやけに・・・リアルな夢を見ていたような・・・?

「。。。。。。。。。。」

目覚ましを止め、夢の内容を思い出そうとするが・・・思い出せない。

「そうだ！」

この日は、私・・・ピタゴラスにとって、大切な日。

・・・。

いつもよりかなり早く起きた私は、午前7時前の誰もいない学園に登校した。

そして今・・・

ある靴箱の前に立っている。

「きよ、今日こそ・・・このラブレターを・・・
ルブラン君に・・・」

そう。私は今日、あこがれの男子生徒にラブレターを届ける。そのため、ほぼ徹夜でラブレターを書いた。1時間しか寝てないが、眠気はない。

「・・・」

直接渡す勇気なんてない私は、定番中の定番【靴箱にラブレター作戦】を決行するというわけだ。

「・・・」

学校の靴箱は、みな扉がついている。だからラブレターを入れて、扉を閉めちゃえば・・・誰かにそれを見られる心配はない。

「・・・・・・・・」

右手でギュッとラブレターを握りしめる・・・自分でどんな内容を書いたか、今は覚えてない。見返すと、届ける勇気が削そがれちゃいそうで・・・

「こういうのは・・・勢いが大事よね。

見直しなんかせず、私が思ったありのままの・・・

愛の言葉で・・・」

ラブレターを握りしめたまま、しばらく靴箱の前でたたずむ私。この土壇場に来て・・・

トクン トクン・・・

心臓が高鳴り、行動を起こせない。

「このままじゃ・・・誰か来ちゃう・・・」

髪につけたアクセサリーの三角定木を、左手で握りしめた。 1・・・2・・・3の方。

「・・・・・・・・」

30度を握ると・・・少し落ち着きを取り戻す。

「よし！」

勇気を振り絞った私は靴箱の扉を開け、ラブレターを押し込もうと・

「!?!」

したその時だった。靴箱の中に・・・

【ルブラン君へ】

そう書かれた手紙が1枚、入っている。

「ラ、ラブレター!?!」

ハートマークのシールが貼られた、ピンクの封筒。どう見てもラブレターにしか見えないそれを見て・・・

「だ、誰が・・・?!」

私は呆然とした。

(第2話へ続く)

第1話 始まりはラブレター（後書き）

~~~~~

次回予告

謎のラブレターを手にとった私。その内容を盗み見た・・・  
そしてこのラブレターを書いたのは・・・？

~~~~~

次回 「 第2話 数学ガール？ 」

第2話 数学ガール？（前書き）

~~~~~  
前回までのあらすじ

私、ピタゴラス。この物語の主人公。

3月14日、早朝。憧れのルブラン君の靴箱の中に、ラブレターを入れようと思ったたら・・・

その靴箱の中に、何者かのラブレターが！？

~~~~~  

第2話 数学ガール？


~~~~~

## 第2話 数学ガール？

「……………」

靴箱の中を覗き込みながら、私は思う。

「ありえない……………」

私は昨日…………最後に学校を出た。警備の人が出入り口の力ギを閉める直前まで、私は目の前の靴箱に三角定木をあてている。

ルブラン君がラブレターに気づいた時、最もインパクトを与えるため…………

【靴箱とラブレターのサイズは、どんな【比】であるべきか？】

この問題を必死で考えていた。

「あの時は、上履きしかなかった……………」

このラブレター、昨日はなかった。だとしたら今日…………

「私より、早く来た人が…………？」

リン………… ゴーン………… カーン………… ゴーン…………

7時ちょうどチャイムが鳴り響く。

ガチャリ。

「!?!」

学生用入り口が開いて、誰かが入ってきた。

「カントちゃん……」

【近代組】の彼女は、必ず同じ時間の7時ちょうどに登校してくる。

「ど……」

パニックした私。靴箱の前で、あたふたとする。とりあえずカントちゃんに見えないよう、身をかがめた。

「あら〜 こんな朝早く、珍しいわね〜 …… デカちゃん」

1つ向こうの靴箱で、カントちゃんの声が聞こえる。

「ど、ど、ど、ど、ど……」

私は思いがけず……

「……」

靴箱に入っていた、何者かのラブレターをわしづかみにした。

「……」

慌てて靴箱を閉めると・・・カントちゃんに見つからないよう、足早にその場を立ち去る。

「・・・誰が・・・？」

主のわからぬラブレターを握りしめ、自分の教室【古代組】へと走って行った。

・・・。。。

教室にカバンを置いたあと、トイレへ駆け込む。誰もいない個室に入ると・・・

改めて

【ルブラン君へ】

と書かれたラブレターを凝視した。

「・・・」

裏を見ると

【from】

そう書かれている。【】？ 何？ なんて読むの？

「・・・」

封を開け、中身を取り出した。中にはたった1枚、真ん中2つ折りの便せんがあるだけだ。

「……………」

人のラブレターを盗み見る事に抵抗はあるけれど……

「……………」

私はそれを広げ、読み始めた。

~~~~~

愛しのルブラン君へ

毎日学園の窓から、あなたを見つめています。
もっとあなたの……近傍きんぼうに入りたい。

私の心はあなたに収束中……
限りなく近付いていきます。

メールアドレスを教えてくださいら……
毎日メーラー展開します

今日の放課後、校庭裏のポール公園にいます。
トイレ近くのベンチまで、来て下さい。

時間は5時13分でどうでしょう？
私、1分前にはいておきますから。

それじゃ、放課後……

お会いできる事を信じて、お待ちしております。

P . S .

あなたにとって、私が十分である必要はないけれど・・・
あなたにとって必要になれば、私は十分です。

~~~~~

「・・・」

そのラブレターを見て、呆然とする。

「なんて、センスのいい・・・」

そして・・・

「これならブルラン君を・・・落とせる」

心からそう思った。と、同時に確信する。

「手紙の主は・・・」

数学倶楽部の人間だ・・・間違いない。

ライバル  
恋敵は・・・

私の所属するクラブにいる。

(第3話へ続く)

第2話 数学ガール？（後書き）

次回予告

手紙の主は、私の所属する数学倶楽部にいる。  
そう確信した私は、授業が終わった後・・・部室を探ってみた。

次回 「 第3話 数学倶楽部 」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1365z/>

---

ピタゴラスちゃんのジレンマ

2011年12月4日23時45分発行